

令和5年度(2023年度) 日本音楽教育学会

関東地区例会のご案内

令和5年度の関東地区例会は、喫緊の課題である「通常学級における音楽科のインクルーシブ教育」をテーマにシンポジウムを開催いたします。ご参加の皆様方と共に考えていくことで、有意義なシンポジウムにしていきたいと思います。

年度末のお忙しい時期と存じますが、奮ってご参加下さいますようご案内申し上げます。

記

日時：2024年2月24日(土) 午後 13:30~16:00

場所：立教大学(東京都豊島区西池袋3-34-1) 本館(1号館/モリス館) 2階 1202教室

*対面のみでの開催です。

参加費：無料(正会員以外の方も参加できます)

シンポジウム：「通常学級における音楽科のインクルーシブ教育」

司会：石上 則子(元東京学芸大学准教授・日本音楽教育学会理事)

パネリスト：阪井 恵(明星大学教育学部教授)

「インクルーシブ教育の動向と、インクルーシブな音楽科の可能性」

高山 仁(日本音楽療法学会代議員 認定音楽療法士)

「義務教育における音楽活動を再考する

～インクルーシブ教育の重要性を実践映像から学ぶ～」

森 文子・和田 久美子(ミューザ川崎シンフォニーホール事業企画課)

「劇場が実践！インクルーシブ/コミュニティ・プログラム

(ミューザ川崎シンフォニーホール)」

【お申込み方法】

下記URL、もしくは右のQRコードから登録フォームにアクセスし、各項目ご記入後に「送信」ボタンをクリックして下さい。

申し込み締切は、**2024年2月10日(土)**です。

*定員(80名)に達しましたら、申し込みを締め切らせていただきます。



<https://forms.gle/CEV6qqgFY5yysEmp8>

【個人情報の取扱いについて】

お申込みを通じて取得した個人情報は、本地区例会の運営のみに使用します。

2023年12月

(お問合せ先)

関東地区担当理事 小畑 千尋(文教大学)

メール：c-obata(at)bunkyo.ac.jp

(at)は@に置き換えて下さい。

プロフィール

石上 則子（いしがみ のりこ）

東京都の公立小学校定年退職後、東京学芸大学准教授、日本女子大学、東京藝術大学、東京家政大学非常勤講師として後進の指導に当たる。旧板橋第三小学校勤務中に特別支援学級の音楽科授業に関わり、ユニバーサルデザインの教室経営の在り方、現在求められるインクルーシブ教育を考えるきっかけとなった。また、長年にわたり東京都小学校音楽教育研究会（都小音研）即興表現研究会の代表を務め、都小音研研究部長や副会長を歴任し、東京都の音楽科教育の向上に力を注ぐ。音楽づくりを研究課題とし、小学校教員時代から様々な機関にて講座を行ったりその事業に参画したりし、現在に至る。日本音楽教育学会理事、日本オルフ音楽教育研究会運営委員、都小音研名誉会友。

阪井 恵（さかい めぐみ）

明星大学教育学部教授。音楽コース担当。明星大学教育学部は、教員養成をカリキュラムの柱としている。ここで、小学校一種と中高音楽一種の教員免許状のための、音楽関係の科目（専門実技以外）を担当しており、特に音楽科指導法関係の科目に注力している。2010年頃から特別支援教育のことを学んで、通常学級の音楽科教育に生かすことを考え始めた。阪井恵／酒井美恵子（2018）『音楽授業のユニバーサルデザイン はじめの一步』（明治図書）を出版。現在は、インクルーシブな音楽科の可能性を模索中。

高山 仁（たかやま ひとし）

日本音楽療法学会代議員 認定音楽療法士。国立音楽大学音楽学部声楽学科卒業、宮城教育大学大学院教育研究科障害児教育専修修了、教育学修士。卒業後（株）河合楽器製作所教育部に勤務、専門講師、指導主事を務め1996年一身上の理由により退社、音楽療法士の道を志す。（一社）日本音楽療法学会代議員・理事・常任理事を歴任し、講習会委員長として音楽療法士の育成に励む。現在、たかやま音楽療法研究所主宰、宮城県立支援学校外部専門講師、仙台つるがや福祉会：ゆう貝ヶ森非常勤講師、日本音楽療法学会東北支部長として、音楽療法全般、幼児・児童領域の音楽療法実践研究、また音楽療法の発展のため講演・研修などに日々努める。所属学会：日本音楽療法学会、日本音楽教育学会、著作：『みんなで音楽』音楽之友社（2011）他。

森 文子（もり ふみこ）

東京音楽大学卒業。2007年よりミューザ川崎シンフォニーホール事業企画課に勤務。公演制作担当を経てコミュニティ・プログラム、広報を担当。美術分野での対話型鑑賞（VTS）を音楽に応用したプログラムや、子どもたちと1からコンサートを創る Jr. プロデューサーなどに携わる。

和田 久美子（わだ くみこ）

昭和音楽大学アートマネジメントコース卒業。2015年よりミューザ川崎シンフォニーホール事業企画課に勤務。公演制作、ホール友の会運営を担当。障害がある方のための鑑賞サポート、特別支援学校へのアウトリーチなどインクルーシブな事業に携わる。

<ミューザ川崎シンフォニーホール>

令和6年に開館20年を迎えるクラシック音楽専用ホール。世界有数の音響を誇り、年間200回近い公演を開催。コミュニティ・プログラムにも力を入れており、ワークショップやオルガンレッスン、教職員向け研修などの事業が評価され、平成28年度地域創造大賞（総務大臣賞）受賞。川崎市の「パラムーブメント」を契機に鑑賞サポート、特別支援学校へのアウトリーチ、触るホール模型の制作などに取り組んでいる。

会場:立教大学 本館 (1号館/モリス館)2階 1202 教室

会場アクセス

J R	池袋駅西口より大学正門まで徒歩約 10 分
地下鉄東京メトロ	丸ノ内線/有楽町線/副都心線 池袋駅西口より大学正門まで徒歩約 10 分 有楽町線/副都心線 要町駅 6 番出口より大学正門まで徒歩約 10 分
西武鉄道	西武池袋線池袋駅西口より大学正門まで徒歩約 10 分 西武池袋線椎名町駅北口よりマキム門まで徒歩約 13 分

(大学への詳細な交通案内は、大学ホームページをご覧ください)

学校法人
立教学院 (池袋)
構内案内図



*池袋駅西口から、立教通りを目指して進んでください。なお、立教通りは現在工事のため、足元にご注意ください。本館は、池袋駅からの進行方向左側の校地になります。正門をくぐって正面に見える、時計台のある歴史的建造物が本館です。

